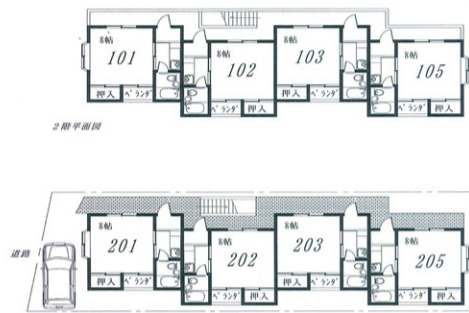


粋人 石屋の多趣味人生

その149

オーナーになりませんか？

京都市北区ハイツ1棟売り



詳細は私
石屋まで
ご連絡下さい



Amazonが好き



今までも私の趣味の一つの読書について書いてきました。そんな中、知り合いにどこで本を買っているのと聞かれてしまいました。そう言えば、私が読書に嵌りだしたのはパソコンのおかげもあるなと思ったりしました。読書をするときに一番の悩みは、どの本が面白いかわかるまで解らないと言うことです。若い頃は本屋さんへ行き、平積にされた本やお勧めの本から選んでいたのですが、確率的に半分は全く面白く無い本でした。途中でこれは「カス」を引いたなと思いつつも、きつと最後に面白い落ちがあるかもしれないと律儀に最後まで読んでいたものです。

それがインターネットを使うようになり、いろんな人の読書レビューを見て参考にできるようになりました。そして私と非常に趣味の合うHPを見つけて行きました。それから一気に読書の幅が広がって行きました。今まで手に取ることが無かった作者を多数知ることになり、外れもほぼなくなりました。そして、本の購入もネットするのが当たり前になっていきました。Amazonも初期の頃からお世話になっていきます。



皆さんもAmazonはよくご存じだと思いますが、中古の本を売っている事は意外に知られていません。安いものになると1円でも売っているのです。私の本の購入はほとんどがこれなのです。定価で買う本は一部の作者の新作のみで、その他は安くなるのを待つて買うことが多いのです。それにベストセラーほど安くなる傾向が速いのも助かります。よく売れた本は、大量に中古市場に流れるからですね。単行本(表紙の堅い本)も安くなる傾向が速いです。単行本は2年ほどすると文庫化されます。そうすると一気に値段が下がります。その時を狙って手に入れるのです。その為私の本棚は単行本だらけになって行きます。定価2千円位の物を百円位で買う事が多いですね。結構大量の本を持っているのですが、意外とお金はかけていないのが現状です。秋の夜長皆さんも読書に時間を割くのも意外と安く済む趣味ですよ。



石屋 紀次

父の好きなお酒

今年、町内の組長が当たっている為、秋の区民運動会に参加しました。町内の方の参加が少ないので、団体競技のほとんどに参加することになりました。お天気は快晴で暑い中、まずは宅急便競争なるものに参加です。5人のチームで、缶ビールの空き箱を運び次の走者に渡すのですが、渡す度に空き箱のケースが増えていき最終の走者は山盛りのケースを抱えて、落とさずにゴールすると言うものでした。私は4番目の走者になったので、空き箱の高さが自分の顔の位置より高くなり、斜めに持ちながら落とさないよう慎重にゆつくりと走りました。結果、最下位となりました。大玉競争、玉入れ、綱引きなどにも参加して、がつり1日頑張りました。普段運動もしていないのに、その日は不思議と痛いところ



古野 充宏

先日、実家に帰ったときにお土産で焼酎を持って行きました。父は酒飲みで、毎晩いろいろ飲んでいました。最近では芋焼酎が流行りだそう、実家に帰る度に芋焼酎がよいかを聞かされてきました。芋焼酎は昔はクセが強く飲み手を選ぶお酒でしたが、最近では製造管理が改善され、芋っぽいクセという味はおとなしくなりました。自分もクセが強い飲みにくい焼酎と認識があり、安い居酒屋で芋焼酎のお湯割りを頼んで痛い目にあつた経験もあつて、しばらく敬遠してました。それで、写真の焼酎をお土産にしましたが、夕食のときに父がその焼酎を持って、飲み始めと勧めてきました。しつこいのでだめもとでお湯割りで頂きました。意外と飲みやすく、気がつくとお湯のみが空になっていました。父の割り方がよかつたのかわかりませんが、芋焼酎は意外と飲みやすいということを知ることができました。

運動会



山本 夕起子

もなく心地よい疲労で、ぐっすり眠れました。ただ、次の日には体のあちこちに疲労を感じて、普段の運動は大切ななあと実感しました。

恐るべし台風

台風の被害は大丈夫でしたか？我が家は山の横にあります。正直お日様の当たりは少々悪いですが、でも、台風の時山の木々が防風林になって、随分助かっています。引越した頃は、台風が来る度に自転車を横にしたり、細かなものを非難させたりと大変でしたが、ある時から段々面倒臭くなつて何もなくなりました。台風が来る時は、窓を開けておくと家が膨らみ壊れたりしますが、我が家の場合は少々の雨だけです。ところが今回の大型台風は違いました。いつもなら山と家の間の隙間を抜ける風が家に当たり、時折家が地震の如くぐらぐらと揺れるのです。みなさんが「すごい風で怖かった」という他人事が、我が身の言葉となりました。家が潰れるのではないかと思つてしまいました。台風は侮れないと痛感しました。お陰様でなんの被害もありませんでしたが、それでも気をつけようという気持ちになりました。

石坂 晴夫

